

# ほとけの 混和会だより

令和六年二月  
東光院  
仏の混和会  
第171号



令和6年1月8日の  
延暦寺年頭式のお言葉

人は共に寄り添い  
支え合えなければ  
生きられない

令和六年一月八日  
比叡山の延暦寺会館にて執  
り行われた年頭式に於いて  
天台座主の大樹猊下は  
「忠恕」チユウジヨと言う  
お言葉を示された後、参拝  
者全員で能登半島地震の犠  
牲者に黙祷を捧げて被災地  
の安穩を祈られました。  
この「忠恕」と言う言葉は  
孔子の言葉で「仁」に通ずる  
最高の徳であると言われて  
おります。

更に新一万円札の肖像画  
である渋沢栄一さんも大  
切にしていた精神であった  
と言われております。

この「忠」と言う文字は  
中の下に心と記されてお  
ります。

「中」この文字の解釈を、  
仏教では何事にもとらわ  
れず執着もしない正しい  
判断の元に行う行動や思  
考「中道」を意味します。

例えば自己に対する執着  
やとらわれ、快樂や苦行、  
善悪とか正義と言う物な  
ど、何事にも偏らない真  
ん中と言うことで、広い広  
い心を意味します。

その広い心で物事を見  
た時自然に他を許し優し  
く思いやる心、私達の心の  
奥底に眠っている慈悲心  
も芽生えて「恕」と言う精  
神が抱けて参ります

そこで大樹猊下は  
「忠恕」の精神にて地震で  
被災された人々や身近な  
人々、共に寄り添い支え  
合って生きて行きなさいと  
示して下さいました。

## 2月3日節分会が 執り行われました



普通の豆まきは「福は内、  
鬼は外」と連呼しますが、  
東光院は「鬼は外」とは言  
いません。

仏教では鬼のような心  
を持った人でも御仏の慈悲の  
御心を手向けると改心され  
るので鬼で有っても排除しな  
いのです。よって中には「福は  
内、鬼も内」と呼びかけて豆  
をまく所も有るそうです。  
又鬼と言われる悪縁で有つ  
ても、清らかな善因を施す  
御心によって良縁に変わり  
災いを避けることが出来ます。  
共に幸を念じ共に寄り添う  
事が肝要かと思えます。

コロナウイルス蔓延防止の  
為、久しく自粛していた節分  
会の豆まきを再開しました。  
当日は天候にも恵まれて  
十二歳から八十四歳まで、  
八名の方が袴を着けて豆を  
蒔いて下さいました。  
「みんな幸せに成りますよう  
に「福は内、福は内」と連呼  
しながら参拝者皆様の幸を  
祈りました。

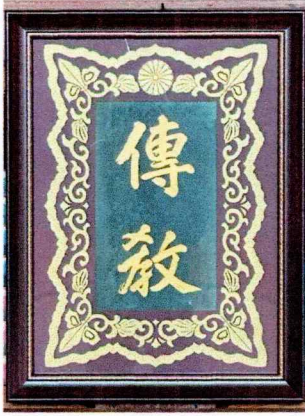
当日はお蕎麦のご接待や  
焼き鳥のご接待、みんな  
栽培して造った漬物や切り  
干し大根、そして東光院境  
内の梅で造った梅干しなど  
ご接待されました。  
皆様の善因の功德によって  
大いなる幸が巡ってこられる  
事と思われます。  
皆様のご協力心より感謝申  
上げます。合掌 亮観拝



日本仏教に登場する  
仏様を毎年少しづつご  
紹介。昨年末、天台宗  
より額を頂きました。た  
でご紹介致します。

●額装『傳教』

比叡山延暦寺根本中  
堂内には『傳教』(伝教)  
と書かれた大きな額が  
掲げられており、これが  
昭和十二年に行われた  
開創千五十年記念の  
法要の際、昭和天皇よ  
り下賜された勅額にな  
ります。  
そしてこの度、数年か  
けて行われてきた伝教  
大師千二百年遠忌事業  
の結願記念として左の  
額を頂戴致しました。  
こちら根本中堂に掲げ  
られていた額と同じ昭  
和天皇御宸筆の『傳教』  
を刻印した額で、根本中  
堂の大屋根の葺き替え



工事に外された銅板  
に刻印してあります。銅  
十年とお堂を風雨から  
護り続けた銅板です。主  
昭和十二年の記念法要  
にて当時の梅谷座主猊  
下の説明によると、  
「傳教」という勅額は  
伝教大師の大師号の勅  
額ではない。四字が書か  
れるは、この度、書か  
と訓じて「でんきよう」  
と濁らずに読み、天台  
の教えを益々広く伝え  
弘めよという思いを召し  
を蒙ったのだと拝察す  
る。」とありました。  
天台の教えの中に「一  
隅を照らす」という皆  
の心の中に仏様がいて  
る。自分が出来る事を  
精一杯行う。皆が優し  
く輝けば世界は優しい  
平和の光で満たされ  
る。とあります。  
特に今年は助け合  
いを考えさせられる年  
明けとなりました。年  
の私自身も出来る教え  
の実践として出来る支  
を今後もし続けたいと思  
います。  
※額は本堂正面に  
掲げております。



大自然の  
営みに生かされる私達

【SDGsとは?】

私達の地球は温暖化に  
よって人類存続の危機的状  
況下に追い込まれておりま  
す。よって持続可能な未来  
を築く為に国連で定めら  
れた国際目標です。  
国連は2030年までの  
大幅なCO2削減目標を掲  
げ訴えておりましたが少し  
も叶えられておりません。  
私達は大自然の営みに  
抱かれ生かされておりま  
す。この自然の営みから外  
れて生きる事は不可能な  
事です。自然の許すもので  
足を知る。この「自然との  
共生」とても有意義な事か  
と思えます。  
亮観拝



平成十一年八月二十九日、  
初めてお蕎麦の種を蒔き、  
今日に至っております。  
お陰様で二十五年目を  
迎える事が出来ました。  
皆様のご協力心より  
感謝申し上げます。

自然と私達人  
共々生きて  
共々生き  
共々に  
共に生かされ